

TSURUOKA ROTARY CLUB

国際ロータリー第2800地区

鶴岡ロータリークラブ

平成 20 年 7 月 1 日 (火) 第 2414 回 例会

●創立 昭和34年 6 月 9 日 ●例会日 毎週火曜日(12:30~13:30) ●例会場 東京第一ホテル鶴岡 鶴岡市錦町2-10



ROTARY SHARES

ロータリーは分かちあいの心



例会に出席し
友情を深めよう

6 月 24 日 (第 2413 回) 例会報告

会長報告

H20.6.19、出羽荘内国際交流財団評議員会に出席。

H20.6.21、ガビさんの送別会。

H20.6.23 鶴岡 4RC 合同事務局運営委員会に参加。



◆この一年を振り返って

07-08 年度は RI 会長のウィルフリッド・J・ウィルキンソンさんの掲げた Rotary Shares(ロータリーは分かちあいの心)のもと 2800 地区ガバナー大友恒則さんの提唱された「CLP を導入し、簡素な組織で豊かな奉仕を」を地区目標として発足しました。

この一年の我が鶴岡ロータリークラブの活動は正にこれらの呼びかけに十分に応えたものでした。

CLP のクラブ組織への導入は会員皆さんの協力により達成しました。出来上がってみると各委員会の活動内容が大きく変わったわけではないせいか、会員の皆さんは今回の組織の改変には戸惑いなく、それぞれの役割を遂行なさっております。

会員増強・会員維持委員会活動は、1 名の増強となりました。

クラブ会報は毎回適切な編集が加えられデジカメの機能をフルに活用したカラフルな記録写真入りで毎回楽しく拝読させていただきました。

クラブの例会は (SAA) の適切なコメントを交えながらの進行で毎回スムーズに行われました。

プログラム委員長さんの御努力のおかげで、会長経験者のお話をはじめとして外部の方々にも貴重なためになる楽しい卓話をたくさん頂きました。

本年度当クラブがホストクラブとなった IM (6RC 合同例会) では塚原初男実行委員長のもと、「新世代に夢と希望と活力を」をテーマとしてシンポジウムをおこない参加者一同に多大の感銘を与え

ました。

例年のごとく、だだちゃまめ家族例会、新そば打ち家族例会、クリスマス例会、鰯汁家族例会 黒豚賞味家族例会、孟宗汁家族例会といろいろ楽しい家族の参加する例会がありました。忙しさのため昼の例会に参加できないという会員の参加の機会を増やす試みとして月に一度くらいは夜の例会を考えたらいいのではないかと提案があり、第一回目の試みとしての夜桜家族例会を開催し好評でした。これらの家族例会には友好クラブの会津若松南 RC や東京東江戸川 RC より多数のご参加を頂き、また当クラブより会員がそれぞれのイベントに参加させていただくなど親善と友情の交換も盛んに行われました。

姉妹クラブ台中港区 RC との続盟式と 37 周年記念式典があり、家族を含めた総勢 12 名で台湾を訪問し友情あふれる大歓迎を受け国際親善と相互理解の輪を大いに広げてまいりました。

当クラブで推薦した青少年交換留学生の荒木春佳さんはオレゴン州の高校で元気で活躍されております。当クラブがお世話している青少年交換留学生ガブリエルさんは関係の方々のお世話や鶴岡の 4RC の協力を得て、羽黒高校で着々と留学の成果を上げて、間もなく帰国です。将来が楽しみです。

ローターアクトが担当する香頭ヶ浜の海岸清掃は鶴岡ロータリークラブの会員やインターアクトも参加し、これにご家族の参加も加わり大勢で楽しく行われました。ローターアクトの有志による思恩園の子供たちとの心の交流が続いております。

今年度の仕事始めになった内川清掃は大勢の皆さんの協力でたちまちのうちに担当部分をこなし、後に一同そろっておいしい朝の会食を楽しみました。

例年のごとく鶴岡ロータリークラブ会長は鶴岡田川地区小中高校児童生徒考案創作展や田川地区高校英語弁論大会に参加しましたが、将来を担う青少年の育成の一端を担うこのような事業は今後とも続け

会 長	真 島 吉 也
副会長	富 樫 松 夫
幹 事	本 間 昭 吉

会報委員会
事 務 局

青柳孝治 佐々木喆彦
鶴岡市馬場町11-63 産業会館 3 階
TEL:0235-28-3375 FAX:0235-28-3376

藤川 享胤君 丸山 隆志君 榎本 政規君
桶渡美智子君 田中 豊君 木村 孝君